

民俗文化財 無形民俗文化財(芸能)／県指定
こばふりゅう

木場浮立 [M-10]



元禄3年(1690)に佐賀から伝わった農民の雨乞い行事である。総員100名程度で構成され、お供囃子方と舞方に分かれる。大名行列を模した道行で登場し、次いで庭浮立に移行する。行列の進退はじめ太鼓・鉦・囃子・道具の一切は総指揮者の拍子木で動かされる。舞には岡崎・ヨータロー・玄蕃・江戸浮立など8種類ある。その中でも獅子舞の獅子は木竹とシロ皮で作られ、愛嬌があって木場浮立独特のものである。かつて、佐世保地域には10組以上の浮立があったが、戦争や都市化等で失われ、残っても変容したの多いなか、木場浮立は古式を継承している意味で極めて貴重である。例年4月第1日曜に上木場グラウンドで公開される。



住 佐世保市黒髪町2442-1

TEL 0956-24-1111

P あり

交 市営バス 上木場バス停

案 毎年4月第1日曜日

休 —



上木場

猫山
タム

山口橋